

# Tuuli

2009年9月15日発行

暑さ寒さも彼岸までとの言葉通り、ずいぶん過ごしやすくなってきました。あれほど暑かった夏も過ぎてしまえば名残り惜しい気もします。名残り惜しいと言えば、光もそうです。秋分の日を境に夜の時間のほうがだんだんと長くなり、朝起きても明かりが必要になってきます。反対に夜の時間は長くなり、灯火親しむべしとの勧めに従い本を読む時間がとれそうです。何か新しいことにチャレンジする秋にしたいと思います。



## バザーのボランティア募集



今年もまたバザーが開催されます。お手伝い頂くボランティアさんを大募集しています。

日時：10月10日（土曜日）9:30～14:30  
（その後小さな慰労会を予定しています。）

会場：錦至誠ホーム けやき広場

募集人数：会場・売り場担当・・・80人ほど

利用者の付添・・・60人ほど

たくさんの方のお力が必要です。どうぞよろしくお願いいたします。

なお10月6日・7日は値付け作業があります。こちらボランティアさん募集中です！

## 介護等体験・福祉体験・総合的な学習の時間の受け入れ

今月もたくさんの生徒さん達が至誠ホームで体験をします。

- NPO法人東京賢治の学校自由ヴァルドルフシューレ11年生（高校2年）2名  
9月15日から10月3日まで（3週間）  
ショートステイ・スオミGH・ハウスキーピング
  - 立川市立第三小学校 6年生  
9月15日 至誠ホームより出前授業（6年生全員参加）  
10月20日 至誠ホームを見学（12名）  
10月27日 至誠ホームでの活動（12名）
  - 立川市立立川第一中学校 2年生 3名  
10月6日から10月8日（3日間）
- ボランティアの皆様、不安一杯の生徒たちをどうぞ温かく見守ってください。



## ♪バイオリンコンサート♪

10月18日に松井バイオリン音楽教室の生徒さんたちがセンター2階でコンサートを開いてくださいます。前回の6月の演奏もとても好評でした。特養の皆さんの送迎に是非大勢のボランティアさんのお力をお貸しください。送迎ボランティアのお申し出をお待ちいたしております。



## ボランティア交流会のご報告



去る9月8日(火曜日) 特養で活動してくださっているボランティアさん18名と、至誠ホームからは吉上園長、鈴木副園長、2階～5階、グループリビングハーモニーの各主任5名、コーディネーター2名の参加でミニボランティア交流会が開かれました。

1テーブル4名のボランティアさんプラス職員1名というこじんまりした場で、日ごろの活動についてお話を伺いました。

①日ごろ同じところで活動している他のボランティアさんと面識がなかったが、これで横のつながりができた。

②ほかにもこのような活動があるのかとわかった。→自分も活動の幅を広げたい。

②経験豊かな他のボランティアさんの話を聞いて自分の将来が楽しみになった。

③疑問点に答えてもらいこれから自信を持って対処できる。

④駅から遠いのが難点だ。→根川の自然を満喫しつつ、歩いて通える健康に感謝している。

この他にも沢山のご意見をいただきました。これらのご意見を活かし、共により良い施設を作っていきたいと思えます。有難うございました。なお、次回は11月を予定しています。



### 阿川聡子さんのフィンランド便り



昨年度マーガレットサロンで橋本ライヤさんと一緒にフィンランドの楽しみ方についてお話し下さった阿川聡子さんがこの夏、フィンランドに行っておられました。阿川さんは至誠ホームで月に2回英語クラブのボランティアをして下さっています。フィンランドの最近についての記事を寄せてくださいました。3回シリーズでお届けします。

この夏4年ぶりに花の咲き誇るフィンランドに行ってきました。夏の野草が咲き乱れ、変わらぬ優しさで私を迎えてくれました。長い間フィンランド大使館で働き、お世話になったことで勝手に第二の祖国と思っています。職場を卒業して、年金生活の自由人になった私。そんな私が夢見る老後はフィンランドに?! 今回の旅はそこに焦点を当ててみました。

まず第一回はフィンランドの人たちが定年を待ち遠しく思っている事情をお話しします。

面積は日本よりやや小さく、人口は520万人。インターネットの使用率が最も高く、旅の好感度はヨーロッパで一番、学力到達度も何年も続けて上位、水は世界で最もきれい。こんな小さな国が大活躍です。がんばろうというより何事も楽しもうと前進あるのみに思えます。

フィンランド人の多くはできるだけ早く退職し、悠々自適の生活を鶴のように首をながくして待っています。定年はバラ色の人生の始まり、始まりなのです。

その秘密は政府を信じていることでしょうか。税金ですが、消費税は食品に17%、その他の商品やサービスには22%、嗜好品にはそれ以上支払い、そのうえ所得税は20~30%と聞いています。でも税金を取られていると思うのではなく、自発的に自分たちの信頼する政府に対して払おうとしています。それによって学費無用、完全雇用、所得補償の高福祉が保障されているのです。高負担で安心を買っているのです。

このような不安の少ない社会で、生活を保障された第二の人生を送るのに大切なのは、いかに健康で自分自身が心穏やかに、周りの人々と仲良く楽しく暮らせるか、ということのようです。

次回は定年退職後は、こういう風に人生を謳歌できたらとお手本にしている大先輩の83才のレアさんのフィンランドでの暮らしをお伝えします。お楽しみに。(阿川 聡子)

発行 社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム 統括事務局企画調整 ボランティア担当 寺澤・齊藤

連絡先 〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel:042-527-0035 Fax:042-527-2646

E-mail: [shisei-volunteer@shisei.or.jp](mailto:shisei-volunteer@shisei.or.jp) HP: <http://www.shisei.or.jp>